

我が家のマイ・タイムラインを作成してみよう

家の洪水タイムライン

1 ハザードマップの確認

(→4ページでチェック済み)

①どの程度浸水する可能性があるか？

<input type="checkbox"/>	← 5m以上	
<input type="checkbox"/>	← 3~5m	
<input type="checkbox"/>	← 0.5~3m	
<input type="checkbox"/>	← 0.5m未満	
<input type="checkbox"/>	← 着色なし(浸水想定区域の外)	

②家屋倒壊等氾濫想定区域内にあるか？

← 該当する ← 該当しない

洪水発生に備えた我が家の避難の考え方

27ページを参考に検討しましょう。

- ①避難準備の必要性 あり ・ なし
- ②避難開始のタイミング 警戒レベル()
(避難に時間がかかる人がいれば3、いなければ4)
- ③避難先
 - ・お世話になれそうな親類や知人等の家
()さんの家
 - ・洪水に対応する指定緊急避難場所中最寄りの
指定緊急避難場所

29ページを見て検討しましょう。

【避難対象地区】()

【指定緊急避難場所】()

避難する時は最新の指定緊急避難場所開設情報を
確認しましょう。

2 タイムライン (いつ・誰が・何をするか)

警戒レベル1~2	警戒レベル3 (避難準備・高齢者等避難開始)	警戒レベル4 (避難開始)	警戒レベル5 (災害発生)

- ・32ページのサンプルを参考に、家族で話し合い、自由に作ってみましょう。
- ・いきなり書き込まずに、付箋などに思いついたことを書き出してから、項目の整理、順番の並び替えなどしてから書き込むとスムーズに作れます。

災害時は電話がつながりにくくなるかもしれない、 そんな時に備えて災害用伝言ダイヤル171

171

ガイダンスに従い、
録音か再生を選択

自宅の電話番号など

0XX XXX XXXX

伝言の録音又は再生
ができます。

どの電話番号に伝言を残すのかを家族で決めておきましょう。またパスワードの設定も可能です。

お互いの居場所や待ち合わせ場所、安否確認などについての伝言(20件まで)を録音、再生することができます。
くわしくはNTTのホームページなどでご確認ください。